

各事例の詳細について

平成 22 年 5 月 22 日
農 林 水 産 省

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過等	検査結果 陽性 (22日未明 判明)
160	児湯郡 川南町	養豚	当該農場690頭 (繁殖豚97頭 子豚588頭 種雄豚5頭) 関連農場367頭 (肥育豚367頭)	89例目の 農場から 西約400m	・5月19日、農場主から宮崎県に対し、飼養豚の鼻に水泡等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭の鼻に水泡等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所に送付 ・当該農場と管理者が同一である関連農場の飼養豚全頭を疑似患畜としました。	1頭
161	児湯郡 川南町	肉用牛繁殖	231頭 (繁殖牛110頭 育成牛7頭 子牛99頭 肥育牛15頭)	111例目の 農場から 北約700m	・5月20日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	3頭
162	児湯郡 川南町	肉用牛繁殖	8頭 (繁殖牛5頭 子牛3頭)	129例目の 農場から 南約250m	・5月20日、農協職員から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
163	児湯郡 木城町	肉用牛一貫	884頭 (繁殖牛250頭 育成牛26頭 肥育牛476頭 子牛132頭)	126例目の 農場から 南西約4.5km	・5月20日、町役場職員から宮崎県に対し、飼養牛3頭に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	3頭
164	児湯郡 高鍋町	肉用牛繁殖	3頭 (繁殖牛2頭 子牛1頭)	158例目の 農場から 南東約2km	・5月20日、農業共済組合職員から宮崎県に対し、飼養牛に食欲不振等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、2頭の舌に潰瘍等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	2頭
165	児湯郡 川南町	肉用牛繁殖	54頭 (繁殖牛27頭 育成牛2頭 子牛25頭)	132例目の 農場から 北約100m	・5月20日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
166	西都市	肉用牛肥育	200頭 (肥育牛200頭)	119例目の 農場から 北西約7km	・5月20日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	2頭
167	児湯郡 高鍋町	肉用牛繁殖	9頭 (繁殖牛5頭 育成牛1頭 子牛3頭)	111例目の 農場から 西約400m	・5月20日、農協職員から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭に流涎・びらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
168	児湯郡 新富町	肉用牛肥育	165頭 (肥育牛165頭)	130例目の 農場から 東約1km	・5月20日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛3頭に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	3頭
169	児湯郡 新富町	肉用牛繁殖	26頭 (繁殖牛13頭 子牛13頭)	119例目の 農場から 西約1.5km	・5月20日、獣医師から宮崎県に対し、飼養牛1頭の食欲不振等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭の舌に水泡等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
170	児湯郡 高鍋町	肉用牛繁殖	115頭 (繁殖牛19頭 育成牛1頭 子牛12頭 肥育牛83頭)	119例目の 農場から 北東約2km	・5月20日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、2頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	2頭

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過等	検査結果 陽性 (22日未明 判明)
171	西都市 尾八重	—	6頭 (種雄牛6頭)		・5月13日、高鍋町の宮崎県家畜改良事業団から現地に移動。現在、経過観察中。 ・19日、及び20日に、検体を動物衛生研究所に送付。	1頭